

やさいレポート (令和6年12月号)



にんじん



発行日：令和6年12月6日

1. 卸売価格の動向

○181円/kg (12月3日)

➢ 平年比：157%

○12月の価格見通し

前半：高値水準で推移

後半：平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○380円/kg

(11月8日全国平均)

➢ 前月比：99%、平年比：100%

➢ 東京：185円 (3本)

➢ 大阪：191円 (3本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：8/20 (前月 8/20)

➢ 大阪：3/10 (前月 6/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○251g/人 (10月全国平均)

➢ 前月比：124%

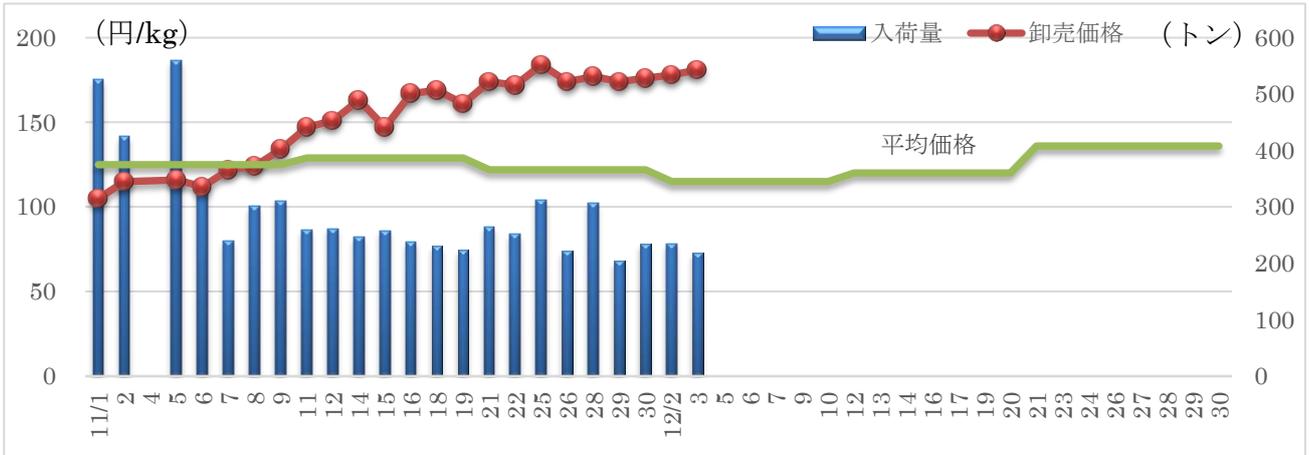
➢ 前年同月比：114%

○2,637g/人 (2023年年間)

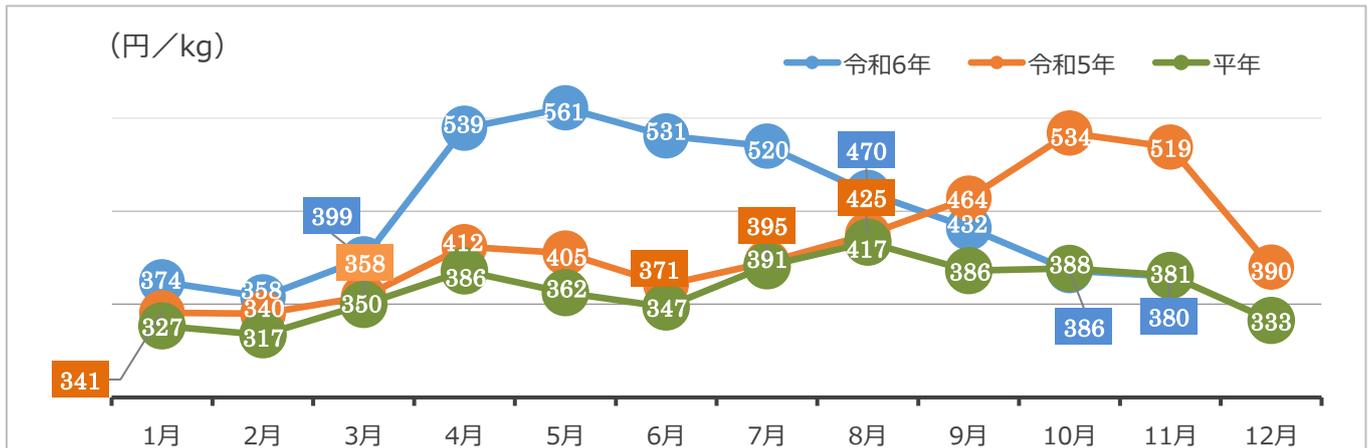
➢ 前年比：98%

(総務省統計局家計調査)

4. にんじんの入荷量と価格の推移 (東京都中央卸売市場)



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
茨城県鹿島 (10/15)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県碧南 (11/22)	前年並み	やや不良	遅い	遅い
沖縄県糸満 (10/23)	前年並み	平年並み	平年並み	—

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



愛知県碧南：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (12/07~01/03)

		週別の天候		
12/7~ 12/13	北日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
	北日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、冬型の気圧配置が強まりやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
12/14~ 12/20	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
12/21~1/3	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低50 並30 高20% 低い見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み	少40 並40 多20% 平年並み少ない見込み
	太平洋側	低50 並30 高10% 低い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み
東日本	日本海側	低60 並30 高10% 低い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み
	太平洋側	低60 並30 高10% 低い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
西日本	日本海側	低60 並30 高10% 低い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側	低60 並30 高10% 低い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み

(気象庁1か月予報)

8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

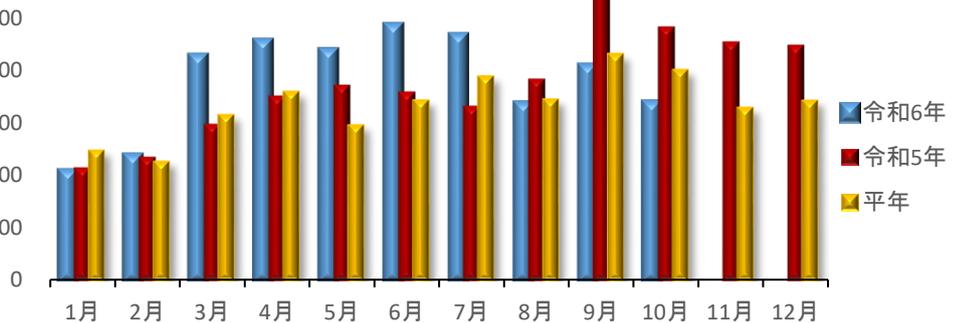
○6,737トン (10月輸入量) 12,000 (トン)

➤ 前年同月比：70%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 6,552トン
- 2位 オーストラリア 173トン
- 3位 米国 12トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

11月は、北海道産が終盤となるなか、関東産は播種遅れに加え、8月上中旬の大雨被害によるまき直し、さらに高温による生育が遅れで出荷は後倒しで端境となるなか太物も少なく高値となった。

12月は、北日本からの入荷は終了し千葉産を中心とした関東産に切り替わるが出遅れているため前半は平年を上回り、後半は平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793